

■利用時間 午前9時30分～午後7時
 ■定例休館日 毎週月曜日〔祝日の場合は翌日〕
 図書整理日〔月末日（土・日・月曜日の場合は翌日）〕



新着コーナー

◇一般書◇

『約束の海』

山崎豊子 著／新潮社
 海上自衛隊の潜水艦と釣り船が衝突。若き士官を襲う過酷な試練。その父は昭和16年、真珠湾攻撃に出撃し…。時代に翻弄され、時代に抗う、父子100年の物語が、今始まる。構想30年、最後の長編小説。

『銀座千と一の物語』

藤田宜永 著／文藝春秋
 人々が集う日本一の街、銀座。涙も、興奮も、切なさも、喜びも、銀座はすべてを教えてくれる。男と女、親と子など、銀座を舞台に出会いがもたらす心温まる素敵なショートストーリー。

『日本橋本石町やさぐれ長屋』

宇江佐真理 著／講談社
 日本橋本石町にある、通称“やさぐれ長屋”には、様々な事情を抱えた住人が、どういふわけだが集まっている。一本気な職人、早々に出戻ってしまった若い娘…。笑って、怒って、泣いて一心温まる江戸人情物語。

『長女たち』

篠田節子 著／新潮社

『隠れた花』

パール・バック 著、小林政子 訳
 国書刊行会

『頼みある仲の酒宴かな』

佐藤雅美 著／文藝春秋

『小学1年生の困った！レスキューブック』

主婦の友社 編／主婦の友社

『小瓶保存食の便利レシピ』

谷島せいこ 著／KADOKAWA

◇児童書◇

『はじめまして』

近藤薫美子 作・絵／偕成社
 はる、なつ、あき、ふゆ。季節はめぐりますが、どんな1日も、晴れやかな「はじめまして」に満ちています。1本の桜の木をめぐるさまざまな「はじめまして」を、豊かに高らかに描いたおあらかな絵本。

『どこまでゆくのか？』

五味太郎 さく／福音館書店
 「いってきまーす」「どこゆくの？」家を出た青い帽子の男の子が、さまざまな分かれ道、いろいろな町を歩いていきます。さてさて、ずいぶん遠くまで歩いてきた男の子が最後にたどりついたのは、なんと…。

『ゾウの鼻が長いわけ』

ラドヤード・キプリング 作、藤松鈴子 訳
 岩波書店
 なんでも知りたがりやのゾウくん。ワニに何を食べるか質問しますが鼻をかまれて、鼻がなが～くのびてしまいます。ゾウの鼻、ラクダのこぶなど、動物がもつ特徴の由来を、遊び心いっぱいにお話する12のお話。

『こねこのレイコは一年生』

ねぎしたかこ 作、にしかわおさむ 絵／のら書店

『おたまじゃくしのしょうごう』

かこさとし 作・絵／偕成社

『えをかくかくかく』

エリック・カール 作、アーサー・ビナード 訳
 偕成社

展示コーナー

一般テーマ『育ててみよう！』

自分で野菜や果物を育ててみませんか？収穫したてのものや、入手が難しい品種を味わうことは市販品では得られない楽しみです。ぜひ、チャレンジしてみてください。

児童テーマ『ともだち』

新しい生活がはじまると、いろんな出会いがたくさんありますよね。ともだちっていいな、と思えるお話を集めてみました。

おはなしの会

日時 毎週土曜日
 4月5・12・19日(土) 午後2時～
 ※第4土曜日はお休みです。
 場所 図書館内・おはなし室